

がんの現状

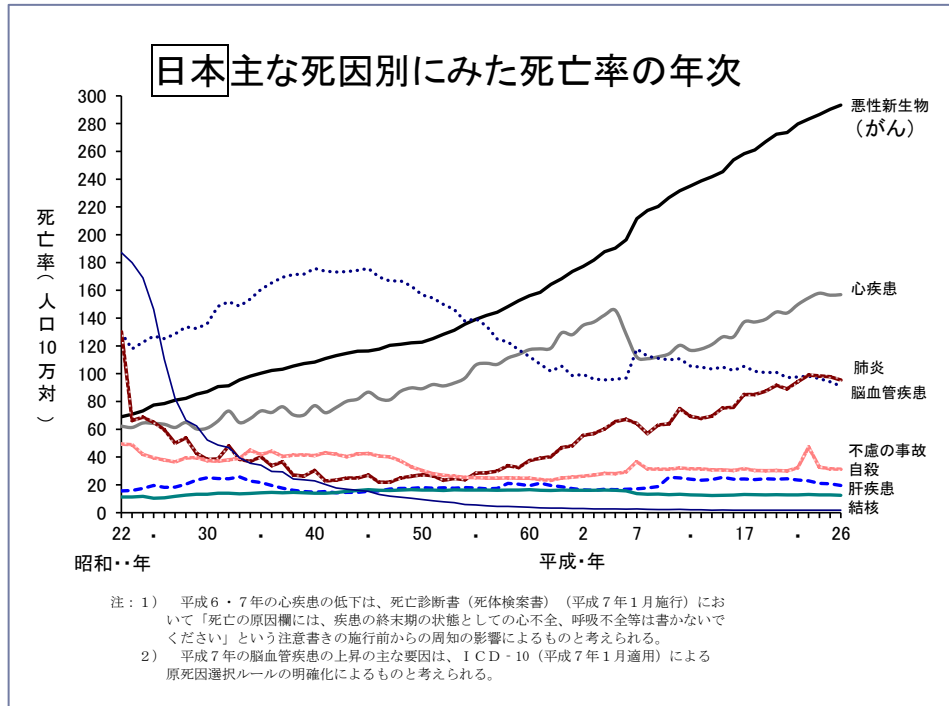
～2人に1人ががんにかかり、3人に1人ががんで亡くなる時代に～

がんは死亡原因1位

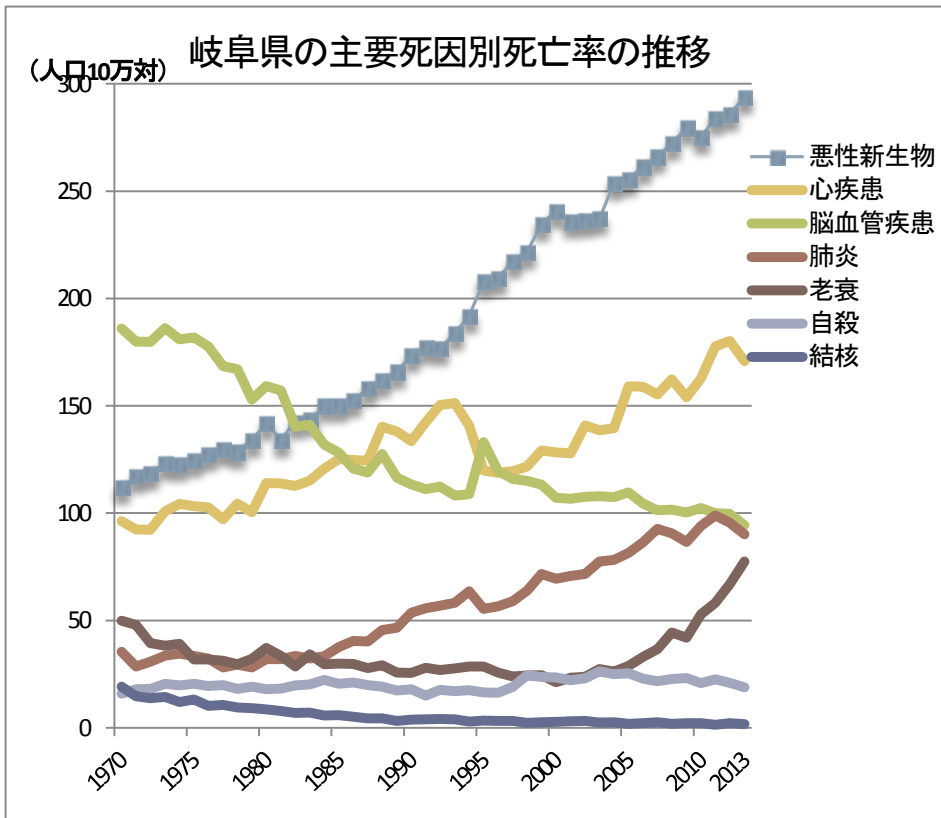
がんは、昭和56年に脳卒中を抜いて死因トップになって以来、がんが一貫して上昇続けており死亡原因1位のままです。

がんで亡くなる方は年々増えており、2014年には、36万8,103の方が亡くなり(前年比 3,231人増)、死亡総数の28.9%を占めています。

中でも、膵臓がん、大腸がん、肺がんの増加が目立っています。

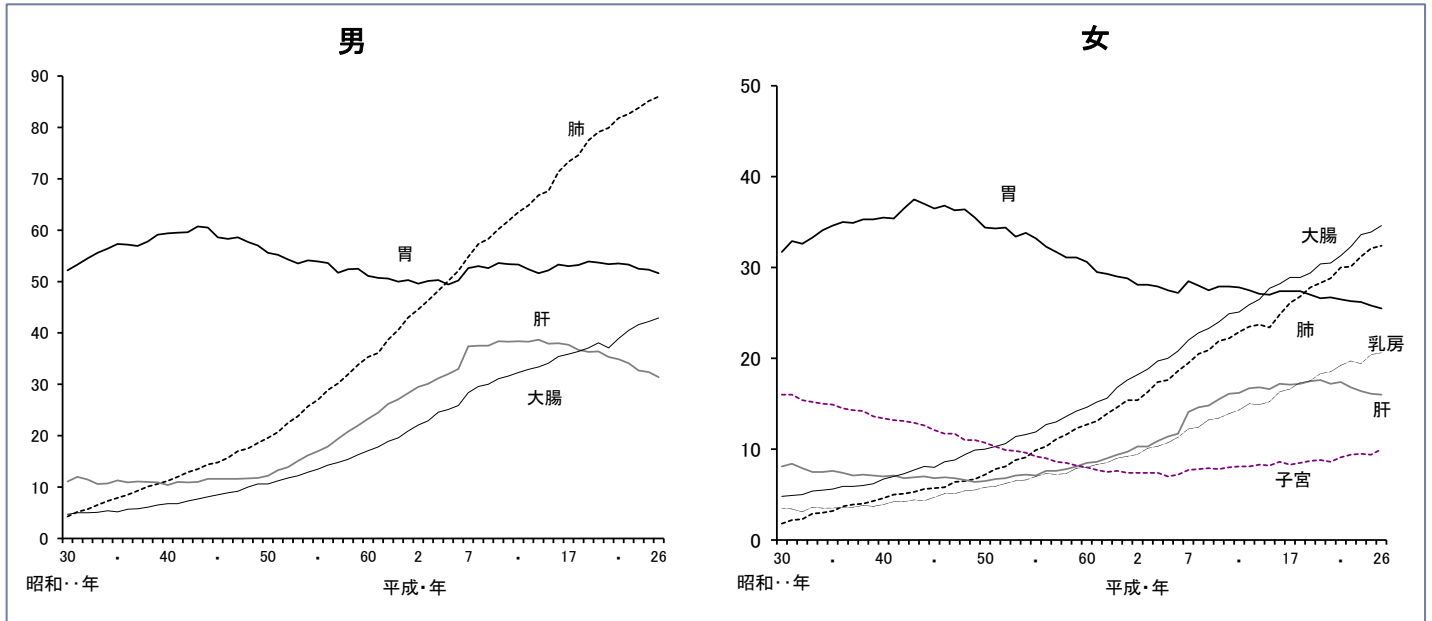


出典「平成26年人口動態統計月報年計(概数)の概況」(厚生労働省)

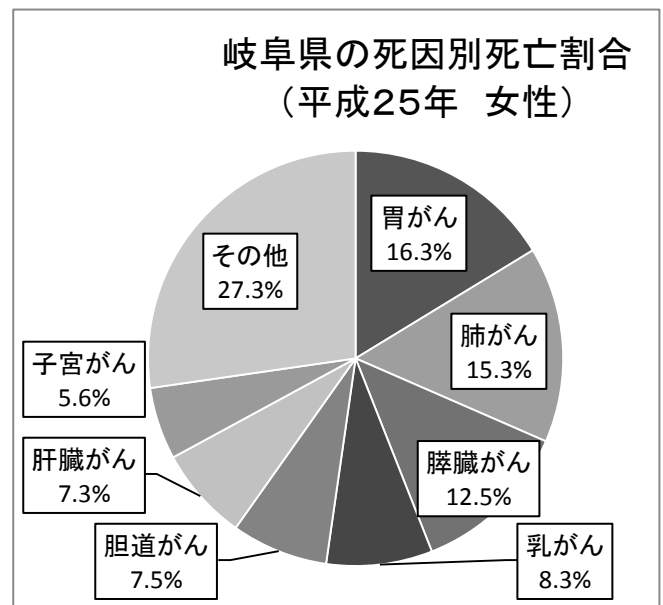
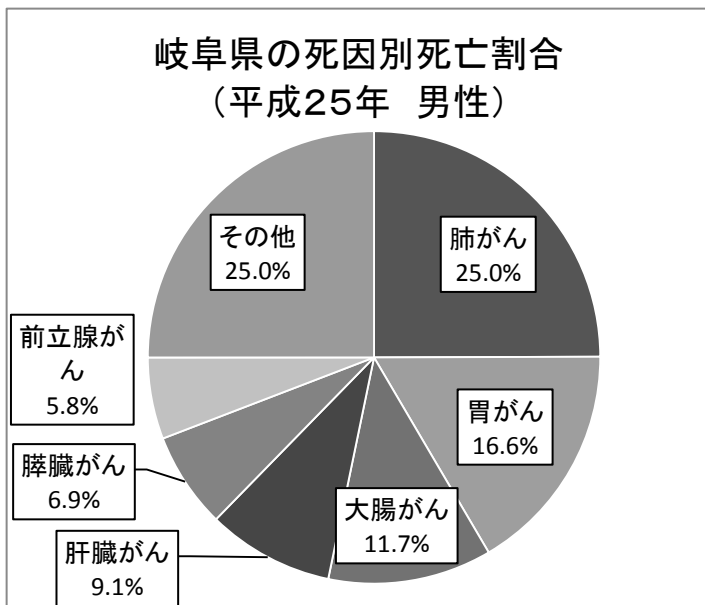


出典: 岐阜県衛生年報

日本悪性新生物(がん)の主な部位別死亡率(人口10万対)の年次推移



出典「平成26年人口動態統計月報年計(概数)の概況」(厚生労働省)



出典:岐阜県衛生年報

→ [ぎふがんねっと『岐阜県がんの現状』](#)

→ 「平成26年人口動態統計月報年計(概数)の概況」(厚生労働省)

→ [国立がん研究センター「がん情報サービス」](#)

◎「悪性新生物」とは「がん」のことをいいます。

◎「罹患率」とは？

人口10万人当たり新たにがんと診断された方の率
 $(\text{新たに診断されたがんの数} \div \text{人口}) \times 10\text{万}$

◎「死亡率」とは？

人口10万人当たり亡くなられた方の率
 $(\text{死亡数} \div \text{人口}) \times 10\text{万}$